

カフェ特集

宮前市民館 2階ロビー 「café みやまえ」 ご案内

宮前市民館、市民広場から入ったエントランス・ロビーで開催しています。

これは市民の手で運営されているコミュニティカフェです。参加するには、賛同費 100 円程度が必要となります。誰でも参加できます。

日時・内容は変更となる場合がありますので、宮前市民館 2階ホール備え付けの「café みやま

え掲示板」または宮前市民館ホームページでご確認ください。



(宮前市民館 HP)

・市民館 de ロビーカフェ
 第 2 火曜日 12:30~15:00
 *ホッとやすらぐコーヒーの香り、心地よい空間を大切にしたいカフェ。

・カフェ おしゃべり日和
 第 3 火曜日 11:30~14:30
 *温かいお茶を飲みながら、ひとときのご縁を楽しむ場。



・CAFE バルーン
 第 4 木曜日 11:00~14:00
 *バルーンアートでつながって地域で活躍する方とお茶を飲みながら情報交換をする場。

・国際おしゃべりサロン宮前
 第 1・第 3 金曜日 13:00~15:30
 *外国の方と気軽におしゃべりをして異文化を体験できる。

・カフェトーク
 第 4 金曜日 11:00~14:00
 *おしゃべりを通して、人と人とのつながりを作ることを目的としている。簡単な手仕事を一緒に楽しむ。

まちづくり広場へのご意見・ご感想はこちらまで
 (事務局)宮前区役所地域振興課
 電話 856-3125
 F A X 856-3280
 E-MAIL 69tisin@city.kawasaki.jp
 HP アドレス <https://www.miyamae-machikyo.com>



【 編集後記 】
 「あるひ もりのなか くまさんにであった、はなさくもりのみち くまさんにであった〜♪」有名な童謡だが、熊さんに出会って死傷したというニュースが相次いでいる。童謡では熊さんは優しく、おじょうさんが落とした白い貝がらのイヤリングを拾ってあげたけれど、そうはいかないようだ。凶行におよんだ熊を駆除するなど抗議する声も多いが、被害にあった人からすればどうなのだろう。童謡のように熊と仲良くできるといいのだが。(K.S.)



区民がつくる
まちづくり広場

No.298
 2024.1

編集・発行 宮前区まちづくり協議会

カフェ特集 **みやまえカフェ連絡会まい café み～や**

区内で現在 55 程の団体が、地域の人たちのために交流する場「コミュニティカフェ」を運営しています。そのうち 36 団体が「みやまえカフェ連絡会まい café み～や」に加入しています。点在するカフェが集まり、問題や知識を共有する場である「みやまえカフェ連絡会まい café み～や」ですが、この連絡会は平成 30 年に発足しました。目的はカフェを運営する人たちに集まって頂き、ここで得た知識や情報などをそれぞれが運営するカフェに戻り、活動に役立てて頂くことです。コミュニティカフェで参加者がお茶を飲みながらいろいろな情報を得たり、関係機関に繋げてもらったり心強い居場所となるよう、連絡会はそのお手伝いができたら良いと考えています。宮前区社会福祉協議会もコミュニティカフェの存在を重視し、福祉の観点からも必要だと考え連絡会の事務局となりました。スタート時から区役所でもカフェの意味を認め、情報提供などをして頂いています。

フェコーナーに協力することになったため、既に開催しているコミュニティカフェに募集をかけ、複数の団体がカフェスタッフとして協力してくれました。コンシェルジュ構想とは違いますが、このことがきっかけとなり前述の「連絡会」が誕生しました。



連絡会を作りたいと思ったのは区民会議で活動したのがきっかけです。平成 28 年、第 6 期区民会議の地域福祉部会で「人との繋がりや支え合い」をキーワードとして「地域福祉コンシェルジュ構想」が提案されました。このコンシェルジュには「誰もが気軽に立ち寄り、出会い・交流し・情報を得ることができる」暮らしの中に作られた「コミュニティカフェ」の運営メンバーが良いと考えていました。ちょうどその年に「第 1 回みやまえ福祉フェスティバル」が開催され、区民会議もカ

これからコミュニティカフェを立ち上げたいと思っている方は、気軽に「みやまえカフェ連絡会まい café み～や」の、年 4 回開催される定例会にお越しください。立ち上げの参考になるアドバイスも聞けると思います。時間・場所は事務局の宮前区社会福祉協議会（電話 044-856-5500）にお尋ねください。(みやまえカフェ連絡会まい café み～や代表 川田和子)

今月号の主な内容
 1 面・カフェ特集：みやまえカフェ連絡会まい café み～や
 2 面・3 面：カフェ特集
 ・交流スペースむかおカフェ ・おしゃべりガーデンおばちやま ・鷺沼仲よしサロン
 4 面・カフェ特集：宮前市民館 2階ロビー「café みやまえ」ご案内



次号予告
 ・令和 6 年度からの宮前区まちづくり協議会

交流スペースむかおカフェ

毎月第3水曜日向丘出張所で開かれているカフェ。10時の開始時刻になると、三々五々地域の方が出張所の2階に集まってきます。受付で地域活性協力金の寄付をすると飲み物の券が渡されます。飲み物はコーヒーやジュースなど。出張所も用事に来るだけでなく楽しみにも来てほしいと2階大会議室を提供、広くて明るいスペースに毎回50人前後の人たちが集まりおしゃべりや催しを楽しんでいます。そんなカフェが向丘地区の自治会が中心となって開かれ、まる3年を迎えています。

訪問した日は折り紙の作品づくり、難しいかぼちゃの折り紙にみんな四苦八苦していました。



また宮前区のゆるキャラ、メローとコスミンが来てメロコス体操で盛り上がりました。地元のグループによるフラダンスやオカリナ演奏なども行われたとのこと。また川崎記念病院のスタッフによる認知症に関することや、専門家による相続・成年後見や終活に関することの相談コーナーも開かれています。川崎市まちづくり局の職員による高山団地のコミュニティーバス運行実験の説明なども行われていて盛りだくさんです。「向丘地区の人だけでなく多くの方が楽しみに来てください」とむかおカフェ実行委員長の川田和子さんは笑顔いっぱい話してくれました。



鷺沼仲よしサロン

「気楽に」「無理なく」「楽しく」を基本にお茶を飲みながら語らう集いの場、鷺沼仲よしサロンが毎月第4水曜日午後1時半から鷺沼会館（とうふ屋うかい隣）で開かれています。会費は100円、コーヒーや紅茶、お茶などを飲みながらおしゃべりと一流のプロを招いて手作り作業、脳トレ、落語、歌などを楽しむカフェです。オペラ歌手を招いたこともあり大人気だったとのこと。

訪問した日は家具製作の川崎マイスター晝川捷太郎（ひるかわしょうたろう）さんを招いて桐板でフォトフレーム手作りの企画（材料費300円）。



おしゃべりガーデンおばちゃま

珍しいネーミングに誘われて伺ってみました。平3丁目の住宅地にある、お花の綺麗な家です。20年ぐらい前にパン作りを本格的に習った主催者の吉永順子（よしながみちこ）さんは、パンを中心としたカフェを開き、「パンのレシピ開発・人との出会い繋がりのできるスペース・Gardenスペースを見て欲しい」と自宅をコミュニケーションスペースとして開きました。

花好きの趣味から、近くに作られた公園に花壇を作りたいと行政へ働きかけたり、向丘出張所木質化リノベーション時には、花壇作りで仲間を募り「ゆる〜い繋がり」のチームを結成したりする、パワフルな方です。昨年には川崎市公園緑地協会主催の「わがまち花と緑のコンクール個人部門」で大賞を受けています。

トレーにのっているパンは試食用。「食べて、味わって、気に入ったパンはお買い求めて」がルールで、カフェの費用はいりません。パンが焼けるまでの時間をわいわい楽しく語るのが吉永流カフェ。当日も娘さんの友人のメンタルトレーナー、平小学校の寺子屋メンバー、コンクール受賞の写真を見て大感激し吉永さんを先生として敬う方、カフェの様子を見に訪れた行政の職員3人など、なにと決められたことでなく集まった人達がいよいよガヤガヤ楽しい時間を過ごしていました。

「おしゃべりガーデンおばちゃま」は毎月最終木曜日、午後12時から3時でゆる〜い集まりのカフェです。

（連絡先 090-7181-9097 吉永順子さん）



小さなカンナで角をとったり、ねじ回して足を付けたりと挑戦する約30人の人たちの笑い声が絶えません。



犬蔵の老人保健施設「レストア川崎」のスタッフが毎回参加し、介護の相談にも乗っています。

町内会のボランティアの人たちと一緒にカフェを運営するのは、代表の富田久美子さんと民生委員や鷺沼町会副会長もつとめる河野明敏さん、奥様の悦子さん。「高齢者が気軽に集まる場所が欲しいと、社会福祉協議会の支援で10年前にサロンを始めました。コロナで3年間休んでいましたが、今年4月に再開、まちづくり協議会の支援金もあり助かっています。地域も年齢も関係ありません、どなたでも気軽に参加してください」と河野明敏さん。（連絡先 044-853-0076）